

学力の地域間格差を解消するための教員加配の重点的な配置

提案・要望の要旨

全国学力・学習状況調査の結果から、学力の地域間格差があることや、同一地域内においても学力の二極化といった教育課題が存在することが明らかになった。これらの課題を有する市町村、学校、子どもたちに対して重点的な支援を行い学力の保証を行う必要がある。

このため、全国学力・学習状況調査の継続的な実施と少人数指導や習熟度別指導のための指導方法工夫改善加配や問題行動等に対応するための児童生徒支援加配等の重点的な配置を強く要望する。

【提案・要望の具体的内容】

◎ 全国学力・学習状況調査の継続

全国学力・学習状況調査は、学校や子どもたちの学力実態を正確に把握し、学力向上対策を講じるうえで貴重な資料を提供するものであり、子どもたち一人一人の学力の保証や、学力の地域間格差の解消を図るうえで、必要不可欠なものとなっている。

このため、昨年度の要望に引き続き、今後もこの調査の継続を強く要望する。

◎ 教員加配の重点化による支援

高知県の中学生の学力の状況は全国と比較して大きく引き離されている現状にある。その中でも県の生徒数の約4割を有する高知市の実態は極めて厳しいものがある。この地域間格差を解消する観点から、少人数指導や習熟度別指導のための指導方法工夫改善加配や少人数学級編制のための加配、また、問題行動等に対応するための児童生徒支援加配について、特に課題がある地域や学校への重点的な配置を要望する。

【提案・要望の理由】

◎ 全国学力・学習状況調査は、単なる数値的な結果にとどまらず、各学校での指導方法や学力向上対策の課題を明確にするうえでも非常に有効であるとともに、課題のある地域や学校における教育関係者間の危機感の共有や、学力向上に向けた気運を高めることにも効果がある。

このため、学力の地域間格差の解消に極めて重要な役割を担う全国学力・学習状況調査の継続的な実施を強く要望する。

◎ 全国学力・学習状況調査結果から、本県の子どもたちは全国と比較して、学力の定着状況に大きな課題が見られた。また、児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果からは、いじめ・不登校や暴力行為などの問題行動等の発生率が全国と比較して高く、生活面においても大きな課題が見られた。

特に高知市においては、家庭学習の習慣が身につけていないこと、教員一人あたりの

児童生徒数が他市町村に比べて多いこと、また、いわゆる中1ギャップと呼ばれる問題行動等の発生率が高いことなどの課題がある。この解決を図るため、中学校1年生の30人学級の拡大を図り、放課後学習のための支援員を配置するなど、県として積極的に高知市への財政的な支援の充実に努めているところである。

また、高知県においては、「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン～学力向上・いじめ問題等対策計画～」を策定して平成20年～23年の4年間で学力をまずは全国水準まで引き上げるなどの目標に掲げて取り組んでいる。

国においても、全国的な教育水準を確保するため、この本県の取り組みへの支援をいただきたく、課題のある地域や学校に重点的に教員を配置するため、既存の指導方法工夫改善、少人数学級編制研究、児童生徒支援等の加配数の継続を強く要望する。

○ 加配（国費）の推移

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
指導方法	293	250	226	192	173
少人数学級	35	61	65	83	102
児童生徒支援	94	92	102	93	91
主幹教諭					11
その他	146	143	129	137	138
合計	568	546	522	505	515

○ 加配（県費）の推移

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
学力向上	58	0	0	0	20
少人数学級	51	62	70	73	65
児童生徒支援	0	28	28	31	32
その他	168	113	106	99	91
合計	277	203	204	203	208

※ 本県においては、厳しい財政状況の中、一定の県単加配を確保している。本県は、東西に長く小規模校が多いという制約から、事務所への指導主事の配置や統合推進加配などを確保するため、高知市への重点的な加配の配置が難しい状況にある。

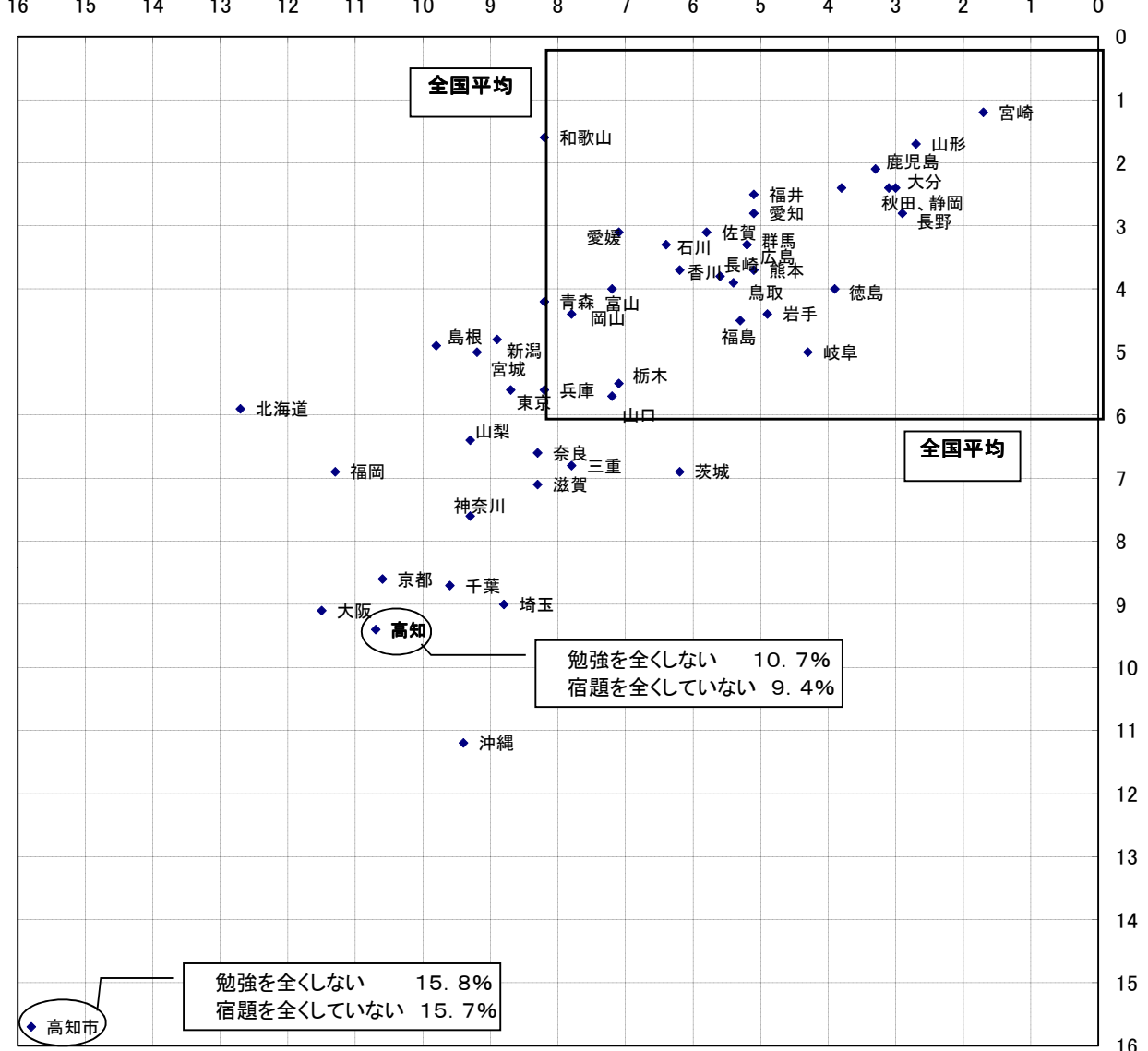
○ 高知市立中学校への非常勤講師等の支援（H21年度）

- (1) 放課後学習支援員 市内全19校に51名を配置（午後～放課後） 〈緊急雇用事業〉
- (2) 中学校学力向上補助員 特に課題のある学校へ16名を配置（全日） 〈県2/3・市1/3〉
- (3) 中学校学力向上サポーター 市内全19校に19名を配置（午前） 〈国1/3・県2/3〉

平成20年度全国学力・学習状況調査における 学習状況についての全国比較

中学生「学校以外（普段）での勉強時間」と「宿題」の相関図
 <生徒質問紙（中学3年生）調査回答>

授業時間以外に勉強を全くしない
 生徒の割合（%）



※家庭学習の習慣と学力の状況には大きな相関関係が見られた。

家で宿題を全くしていない
 生徒の割合 (%)

中学校 国語と数学の相関図

